

問1 2019年の統計において、中国の原油消費量は急増してアメリカ合衆国の水準に迫っていますが、一方で人口に目を向けると、中国はアメリカ合衆国の約4倍以上の規模となっています。これらの状況から判断できる、両国の「一人当たりの原油消費量」の比較に関する記述として、最も適切なものを次の中から選びなさい。（2024年 香川公立入試 類似）

1. アメリカ合衆国の方が、中国よりも一人当たりの消費量が大幅に多い
2. 中国の方が、アメリカ合衆国よりも一人当たりの消費量が多い
3. 総消費量が近いので、一人当たりの消費量も両国でほぼ同等である
4. 人口が多い国ほど一人当たりの消費量も増えるため、中国の方が高い数値を示す

問2 アメリカ合衆国、カナダ、メキシコの3か国間で結ばれているUSMCA（米国・メキシコ・カナダ協定）の目的や特徴について説明したものととして、最も適切なものはどれですか。（2023年 千葉県公立入試 類似）

1. 域内での関税を原則として撤廃し、自由な貿易を促進することで北アメリカの経済発展を目指している。
2. 南アメリカ諸国との経済的な統合を強め、将来的な共通通貨の導入を主な目的としている。
3. 太平洋を取り囲むアジアや北アメリカの国々が参加し、投資やサービスを含む幅広い分野の自由化を目指している。
4. 特定の2か国間で、貿易だけでなく人の移動や知的財産の保護など幅広い経済的な連携を強化している。

問3 アメリカ合衆国における人口構成の特色について述べた文として、アフリカ系住民の分布状況を正しく説明しているものはどれですか。（2019年 熊本県公立入試 類似）

1. かつて綿花などのプランテーション農業が盛んだった南東部の諸州において、人口に占める割合が高い。
2. メキシコとの国境に近いテキサス州やカリフォルニア州などの南西部において、人口に占める割合が高い。
3. アジアに近い地理的条件を持つハワイ州や、西海岸の都市部において、人口に占める割合が高い。
4. 五大湖周辺の工業地帯から、サンベルトと呼ばれる北緯37度以南の地域へ一貫して移動・集中している。

問4 アメリカ合衆国のミシシッピ川流域から五大湖周辺にかけて広がる地域では、広大な農地でトウモロコシの生産が盛んに行われています。この農業地域の名称として適切なものはどれですか。（2026年 島根公立入試 類似）

1. トウモロコシ地帯（コーンベルト）
2. 小麦地帯
3. 綿花地帯
4. 酪農地帯

問5 アメリカ合衆国の産業発展について述べた文章において、北緯三十七度以南の地域で一九七〇年代から先端技術産業や航空宇宙産業が発達した背景を説明したものととして、最も適切な内容を選びなさい。（2024年 山口公立入試 類似）

1. 温暖な気候に加え、広大な土地や安価な労働力が確保しやすかったため。
2. 五大湖周辺の石炭や鉄鉱石を資源とした重工業が再編されたため。
3. 大西洋側の港町からヨーロッパへ製品を輸出するのに便利だったため。
4. 冷涼な気候が、精密機器の過熱を防ぐための工場立地に最適だったため。

問6 気象に関する用語のうち、「ハリケーン」の説明として最も適切なものはどれか。（2023年 青森県公立入試 類似）

1. カリブ海やメキシコ湾周辺で発生し、北アメリカ大陸南部などに被害をもたらす強い熱帯低気圧
2. フィリピン沖などの北西太平洋で発生し、東アジア帯に風水害をもたらす強い熱帯低気圧
3. ベンガル湾などのインド洋で発生し、南アジアなどの沿岸部に高潮被害をもたらす強い熱帯低気圧
4. アメリカ合衆国の中西部の平原で発生し、短時間で局地的に甚大な被害をもたらす竜巻

問7 アメリカ合衆国の農業が、特定の農作物を大規模に生産し、高い収益を上げることができる理由の一つとして、「適地適作」という仕組みが挙げられます。この仕組みの説明として、その目的や内容を正しく述べたものはどれですか。（2021年 長野県公立入試 類似）

1. 気温や降水量などの自然条件に最も適した農作物を栽培し、生産の効率化を図ること
2. 消費地である大都市に近い場所に農場を配置し、輸送コストを削減すること
3. 肥料や機械を大量に投入し、自然条件に関わらず同じ作物を全国一律で育てること
4. 輸出を目的とせず、地域の住民が消費するために多様な品目を少量ずつ育てること

問8 アメリカ合衆国、カナダ、メキシコの3か国が、USMCA（旧NAFTAを含む）のような自由貿易協定を締結している主な目的として、最も適切な説明はどれですか。（2022年 大阪公立入試 類似）

1. 域内の関税を原則として撤廃することで、商品の流通を活発にし、経済成長を促進するため。
2. 南アメリカ諸国との経済格差を是正するために、北米共通の通貨を導入し流通させるため。
3. ヨーロッパ連合（EU）と同様に、加盟国間での政治的な統合と軍事同盟を強化するため。
4. アジア地域からの輸入品に対して一律に高い関税を課し、域内市場から完全に排除するため。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 アメリカ合衆国の方が、中国よりも一人当たりの消費量が大幅に多い	一人当たりの消費量は「国の総消費量÷人口」で算出されます。中国は経済発展に伴い国の総消費量ではアメリカ合衆国に匹敵する規模になっていますが、分母となる人口がアメリカ合衆国の4倍以上と極めて多いため、一人当たりの数値に直すとアメリカ合衆国の方が圧倒的に高い水準となります。この指標は、その国の国民一人ひとりの生活水準や、エネルギー消費の効率性を反映する材料となります。
問2	答え 1 域内での関税を原則として撤廃し、自由な貿易を促進することで北アメリカの経済発展を目指している。	USMCAは、北アメリカの3か国が経済的な壁を取り除くことで、域内の産業競争力を高めることを目指しています。1994年に発効したNAFTA（北米自由貿易協定）を継承しつつ、自動車部品の域内調達率の引き上げや、インターネット上での取引に関するルールを定めるなど、現代の経済状況に合わせた枠組みとなっています。
問3	答え 1 かつて綿花などのプランテーション農業が盛んだった南東部の諸州において、人口に占める割合が高い。	アメリカ合衆国のアフリカ系住民は、歴史的に奴隷として連れてこられた背景があり、労働力として必要とされた南東部のプランテーション地帯に多く居住してきました。現在でも、ミシシッピ州やジョージア州など南東部の諸州では、アフリカ系住民の割合が15%を超えるなど、他の地域に比べて高い傾向にあります。これに対し、南西部に多いのはヒスパニック（スペイン語圏からの移住者とその子孫）です。
問4	答え 1 トウモロコシ地帯（コーンベルト）	アメリカ合衆国の中央平原から五大湖の南側にかけての地域は、肥沃な土壌と適度な降水量に恵まれており、世界最大のトウモロコシ産地として知られています。この地域はトウモロコシ地帯（コーンベルト）と呼ばれ、生産されたトウモロコシは家畜の飼料やバイオ燃料の原料、そして世界各地への輸出用として重要です。一方、小麦地帯はより西側の乾燥した地域に分布しています。
問5	答え 1 温暖な気候に加え、広大な土地や安価な労働力が確保しやすかったため。	サンベルトへの産業移転は、雪の多い北東部「フロストベルト」に比べて、暖房費が抑えられる温暖な気候、新しい工場を建てるための広大な用地、そして比較的安価な労働力が揃っていたことが大きな要因です。また、政府による軍事・宇宙関連の投資がこの地域に集中したことも、先端産業の発展を後押ししました。
問6	答え 1 カリブ海やメキシコ湾周辺で発生し、北アメリカ大陸南部などに被害をもたらす強い熱帯低気圧	ハリケーンは、西インド諸島を含むカリブ海やメキシコ湾周辺で発生する強い熱帯低気圧の名称である。他の選択肢に関しては、北西太平洋で発生するものは台風（台風）、インド洋で発生するものはサイクロン、アメリカ中西部などで発生する竜巻はトルネードと呼ばれる。
問7	答え 1 気温や降水量などの自然条件に最も適した農作物を栽培し、生産の効率化を図ること	アメリカ合衆国の農業は、自然条件を無視して全ての場所で同じ物を作るのではなく、各地域の特性を活かして最も効率よく育つ作物を選んでいきます。この方法により、一地域で特定の作物を大規模に生産することが可能になり、世界の食糧庫と呼ばれるほどの高い生産性を実現しています。
問8	答え 1 域内の関税を原則として撤廃することで、商品の流通を活発にし、経済成長を促進するため。	自由貿易協定（FTA）は、特定の国や地域の間で関税をなくしたり、サービス提供のルールを整備したりすることで、貿易をより自由に行えるようにする制度です。USMCAの場合、メキシコの安価な労働力と、アメリカやカナダの資本・技術を効率的に組み合わせることで、北米全体の産業競争力を高める狙いがあります。共通通貨の導入や軍事統合は目指しておらず、また域外の国を完全に排除することを目的としたものでもありません。